

「保護者学校評価」等をもとにした学園の対応について

残暑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、白川郷学園の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様による「学校評価アンケート」（1学期末）の数値結果（裏面参照）やご意見、学校職員による「グランドデザイン会議」（8月）、学校運営協議会の皆様による「学校評価アンケート」（1学期末）を受け、今後の学園の対応を検討いたしましたので、お知らせいたします。

今後も、教育目標「ひとりだち」に向けて充実した学校教育を目指してまいりますので、ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

【主な対応】

（1）『相手を気遣う生き方ができる子』を育成します

「白川郷学園人権宣言」を大切に、「めんどくさい」ことから逃げず、自分から進んで動き、周りの仲間のために考え、行動できるよう指導していきます。家庭や地域と連携し、気持ちのよい挨拶ができるよう取り組みます。個に応じた適度な支援をしながら、子どもたちのレジリエンス（回復力・しなやかさ）を鍛えていきます。

<数値結果>

- 評価項目③「いじめ事案、不登校・不適応対応」 3.14
- ▲評価項目④「あいさつ」 3.06
- 評価項目⑦「あたたかい言葉」 3.04
- 評価項目⑧「安全で正しい登下校」 3.1

（2）『思考スキルを活用し考え、自ら学びを加速させる子』を育成します

学習スタンダード（基本的な学習習慣）の定着を図り、思考スキルを活用し考え、自ら学びを加速させることができるよう支援していきます。効果的にICT機器を活用し、先を読む力を育成する授業改善やミライシードを活用した「みがき」の時間における基礎基本の定着に取り組みます。学校運営協議会と連携し、望ましい家庭学習のあり方を発信します。

<数値結果>

- 評価項目⑤「授業への意欲」 3.2
- ▲評価項目⑥「家庭学習」 2.8
- 評価項目⑩「一人ひとりを大切にした授業」 3.28

（3）『自分・学園・村のよさを自信をもって発信できる子』を育成します

将来の夢や今頑張っていることを、効果的にICT機器を活用しながら堂々と語る子、村や地域の方々、家族に感謝の気持ちを伝えられる子を育てる取組をします。また、学校運営協議会と連携し、村民学の取組の充実を図るとともに、夢や希望に向かって努力している先輩から学ぶ機会をつくります。

<数値結果>

- 評価項目⑱「学園・学校行事の内容」 3.22

（4）『自ら健康に生活する子』を育成します

自分の健康について、自分で気付き、考え、判断しながら「自ら健康に生活する子」の育成に向けて、青空タイムの「ドッジボール」など、定期的な運動の場を設定します。村保健安全委員会等と連携し、保育園とも協力しながら、「生活習慣形成（眠育・食育など）の指導を継続します。

<数値結果>

- 評価項目⑩「進んで運動・遊びに取り組んでいますか」 3.3

<「確かな学力・やりきる力・判断力・自主性・向上心・礼儀やマナー」を高めるため、保護者として心がけていることやこれから心がけていきたいこと>

- ・学校の友達関係では、適度な距離で見守ることができるように普段から子どもの話をよく聞くようにしている。
- ・笑顔の絶えない家庭づくりをしています。
- ・学習をはじめ生活全般についての子どもたちの意欲の引き出し方については、大変悩ましい日々を送っているのが現状です。しかし、日々の声かけと、気付きを促し行動に移していけるようなもっていき方を根気にしていけたらと心がけています。
- ・しっかり挨拶 何事も一生懸命にやること 子供の目線の高さで話をしっかり聞くこと 悪ければしっかり叱り 良いことをしたら大げさに頭をなでて褒めてあげること
- ・地域の方々に挨拶をしたり、コミュニケーションを多く取り、いろんな人と多く関わり、しっかり話ができるような関わり方が大事と親子ともにあいさつを徹底しています。